

平成 28 年度 学校保健委員会が行われました。

平成 28 年 12 月 1 日(木)、本校リスニング教室において、平成 28 年度学校保健委員会が行われました。学校医の先生方、PTA 役員、学校理事（保健委員）の多くの方々の出席をいただき、本校生徒の健康づくりを積極的に推進することを目的として報告や活発な質疑応答が行われました。

主な報告内容は以下のとおりです。

(1) 経過報告 熊谷

KSC センター長盛岡南院長の菊池佐知江先生による「姿勢バランスと健康」の講演の実施。

(2) 定期健康診断結果報告 松下

1 年次に比べ 2 年生の肥満傾向減少、1 年生の視力、コンタクトレンズ使用者の増加、う歯保有者の減少など。

(3) 災害給付状況報告 松下

発生件数は例年並だが、体育祭での負傷が増加。

(4) 保健室利用状況報告 松下

1 日あたりの利用者数は前年より増加。症状別利用状況としては内科が最も多い。6 月は体育祭があったため外科による利用が増加。曜日別利用状況としては、月曜日に 1 年生女子、3 年生男女の利用が多く、水曜日に 1 年生男子、2 年生男女の利用が多い。

(5) 環境衛生検査結果報告 学校薬剤師大沼先生

水道水（冷却水）、教室の照度検査ともに異常なし。

(6) 出席停止報告 松下

インフルエンザ感染が多かった。毎年、1 年生の感染が多い。

学校医の先生や PTA の方々より、熱心な質問や助言が行われ、非常に有意義な会議になりました。視力が C、D と判定された生徒が 1 年生に多いことについては、受験期に視力低下したのに気付かずに入學してくる生徒が多いことがあげられました。そのような生徒へ早めの受診を勧める方法として、視力検査で B 判定の生徒にも勧告を出すことで、C、D の判定を受けた生徒により注意を喚起できるとアドバイスがありました。他にも、インフルエンザの予防に関する相談、生徒の心の状態やカウンセリングに関する質疑応答が行われました。